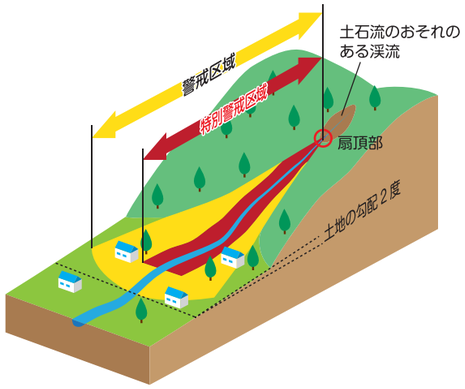
土砂災害の種類と前兆現象

大雨や台風、地震が発生したときには、地盤がゆるみ「土石流」や「地すべり」、「がけ崩れ」といった土砂災害を引き起こす可能性があります。土砂災害から身を守るためには、まず自分の家の周りに危険がないか確かめることが重要です。

土石流

谷や斜面に溜まった土・石・砂などが水と一緒に一気に流れ出す現象。

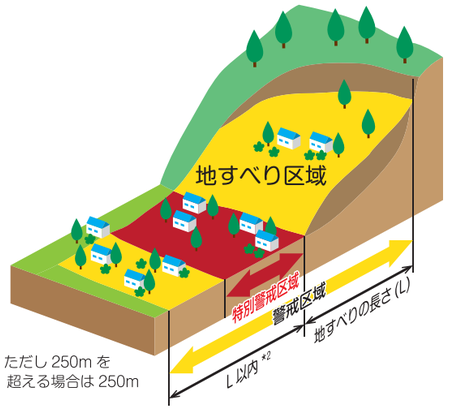


土石流の前兆

- 山鳴りがする。
- 川の流れがにごり、流木が混じりはじめる。
- 雨が降り続いているのに川の水位が下がる。
- 腐った土のにおいがする。

地すべり

比較的緩やかな斜面で地中の粘土層などがゆっくり動き出す現象。



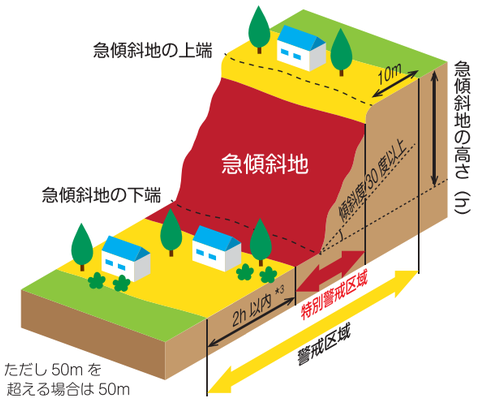
*2）ただし 250m を超える場合は 250m

地すべりの前兆

- 沢や井戸の水がにごる。
- 斜面にひび割れができる。
- 斜面から水がふき出す。
- 家や擁壁に亀裂が入る。
- 擁壁や樹木、電柱などが傾く。

がけ崩れ

地中にしみ込んだ雨水で柔らかくなった土砂が斜面から突然崩れ落ちる現象。



*3）ただし 50m を超える場合は 50m

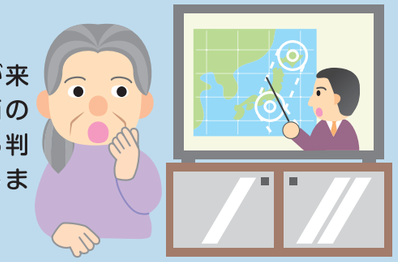
がけ崩れの前兆

- がけに割れ目が見える。
- がけから小石がパラパラと落ちてくる。
- がけから水が湧き出ている。
- がけから木の根が切れる音がする。

避難時の心得

心得 その1　状況によりすばやく避難しましょう！

町から情報が来る前でも、雨の状況などから判断し、避難しましょう。



心得 その2　町などからの広報に注意しましょう！

町などからの避難のよびかけに注意しましょう。

心得 その3　非常時持ち出し品は最小限にしましょう！

心得 その4　クルマでの避難はやめましょう！

心得 その5　集団で助け合いましょう！

単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。

心得 その6　高齢者や障害のある人、子どもなどの避難を助けましょう！

心得 その7　安全なルートを選びましょう！

川や地下歩道などは避け、できるだけ安全な道を選びましょう。
棒を使い、溝やマンホールに注意して歩きましょう。

心得 その8　逃げ遅れたら、近くの高くて頑丈な建物へ避難しましょう！